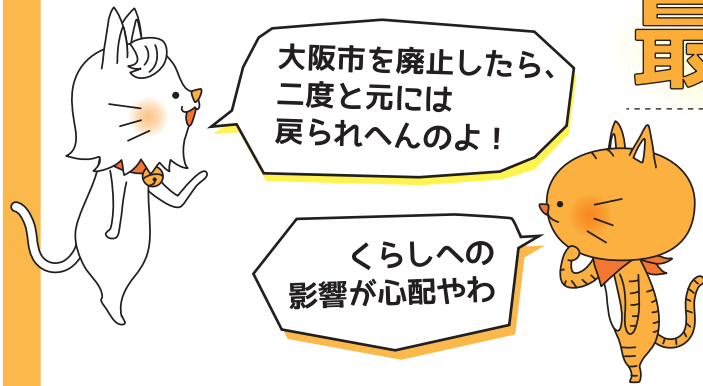




# 最大の問題は「くらしが壊される」ことです



「特別区」の「設計図」には、どんな問題があるのか？  
ご一緒に考えませんか？

## そもそも「大阪都」とは

- ！大阪市は廃止され、二度と元に戻りません
- ！名前は「大阪都」にならず「府」のままです
- ！大阪市の権限・財源・財産が「府」にむしり取られます
- ！「一人の指揮官」でやりたい放題の体制です

## ◆これが危ない！ 政令市大阪が独自に実施していた住民サービスが切り捨てられる!?

- こども医療費助成
- ひとり親家庭・重度障がい者医療費助成
- 塾代助成事業
- 学校給食費無償化
- 幼稚園就園奨励費補助事業
- 敬老パス交付事業

### 財政シミュレーションに削減明記

施設	箇所
市民プール	24→9
スポーツセンター	24→18
老人福祉センター	26→18
子育てプラザ	24→18



## 「特別区」にはお金がありません!

- 「特別区」設置には、1300億円(15年間)もムダなコストがかかります。一方、コロナ対策などもあり支出は大幅増です!
- 「特別区」の税収は大阪市の3分の1に激減し、不足は大阪府からの「おこづかい」(交付金)でまかなうこととなります。しかも、「おこづかい」の財源となる国の地方交付税は必要な額より約200億円も不足します。
- 住民サービスを維持したくても、お金がなければできません。

## ◆コロナで税収500億円減(大阪市見通し) 実態を反映させれば「特別区」は大赤字です

- コロナ禍で、大阪市の税収見通しが500億円減少し、大阪メトロ(地下鉄)も赤字に転落しました。
- しかし、「特別区」の財政シミュレーション「更新版」は、コロナ前のメトロの大黒字を計上し、税収悪化は試算せずに、「特別区」が「収支不足なし」と偽装しています。
- 「特別区」の財源が不足すれば、国が補てんしてくれるといいますが甘すぎます。

## 「二重行政」を考える

ムダをなくして!はみんなの思いです。  
しかし、旧WTCと、りんくうゲートタワービルは、バブルに踊った府市一体の政策の誤りで、「二重行政」だったからではありません。  
逆にコロナ対策など国・府・大阪市が一体となって二重・三重の仕事をする必要があります。



松井市長

「いま二重行政はないんです」

8月21日・市会本会議

## 他にも不安が...

### ◆「介護保険料下げて」の 声が届かない一部事務組合

大阪市の介護保険料は政令市一高い。大阪市であれば一般会計から応援して値下げが可能です。ところが、「特別区」共同の一部事務組合が介護保険を担当すると、一つの「特別区」だけでは値下げができなくなります。

### ◆消防・水道も大阪府へ

市町村の仕事である消防・水道も大阪府に移管、災害時対応が不安です。

### ◆自治体と言えない 「中之島合同庁舎」

コスト削減で、新庁舎建設を先延ばし、いまの中之島本庁舎が3特別区の「合同庁舎」に…。職員の多くが他の自治体で働くなど、自治体の体をなしません。

